



2020/9/19 熊本県人吉市 © 岩村義雄

今年は世界中が予想もしていなかった事態に見舞われました。AIC-Japan が支援しているフィリピン、ラオス、インドもロックダウンになり、村で過ごす子ども達のが心配でした。例年は新学期までに行う送金も、今年は銀行封鎖の恐れがあったので、慎重に行いました。シスターの方の働きのおかげで、今のところ子ども達も無事に過ごしているとの報告を受けています。引き続き現地とも連絡をとってまいります。

また、日本国内では大雨による被害も各地でおきました。被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。カバー写真は被災した熊本県人吉市で定期的にボランティア活動をされている岩村義雄牧師が9/19に撮影されたものです。私たちがコロナ禍で集まる時間がない中、何かできることはないかと考える日々でした。そして、たくさんの方々のお力を借り、心一つにして、「オンラインチャリティ演奏」をさせていただきました。AIC-Japan のHP から視聴いただけます（次ページにてご案内）。一人でも多くの方にお届けできることを祈っております。

コロナ禍に届けたい

濱 寄 繁 一

阪神淡路大震災を経験しました者として、2020年7月に発生しました九州地区豪雨災害に被災されました皆様方に心からお見舞い申し上げると共に、チャリティー演奏を通して心からの支援をさせていただきました。3曲の動画では、演奏者4人の真ん中に講壇の十字架があり、中心は主イエス様で、祈りをもって神様に御捧げ致しました。

また、趣旨を理解して頂き、コロナ禍の中にありながら会場を快く提供してくださいました【母の家ベテル】の皆様方には本当に感謝し心からの御礼を申し上げます。

被災地は落ち着いたかのように思われますが、今回記載していただきました岩村牧師の現地での状況を考えますと、これからも支援が必要と思います。皆様、引き続きのご支援をどうぞよろしくお願い致します。主にありて。



曲目：いつくしみ深き / Amazing Grace / 糸

岩村先生の感想も掲載させていただき、マスコミが伝えない現状をお伝えしたいと思います。



<http://kisokobe.sub.jp/>
神戸国際支援機構

岩村義雄牧師さまより

コロナ禍のため、7月4日に発生した人吉市などの被害に対するボランティアは制限されたかの報道がありました。私たちは「心の復興」と対話を大切にしています。発生日から9回訪問し、独居の高齢者などに寄りそっています。

単なる水害ではなく、2階までの泥も3日もすれば石のように硬くなります。ドロ出し、がれき処理、使えなくなった家具などを搬出します。気が遠くなる作業です。11時間かけて神戸から駆けつけています。全国からのご協力に感謝しています。

滞日外国人支援

長谷川禎子

北播磨総合医療センター

北播磨総合医療センターは、小野市民病院と三木市民病院が、合併して出来た新しい病院です。当然、北播磨総合医療センターで治療や出産をされた方の多くは、小野市や三木市の家に帰っていかれます。日本語の不自由な滞日外国人の方達も同様です。ただ、病棟で常に専門の医療従事者が側に居た環境と自宅では、大きく異なります。日本語でのコミュニケーションに問題のない日本人の方でもひとり自宅で過ごしていれば、不安になる方は少なくありません。まして日本語の不自由な滞日外国人の方であれば、より不安を抱えると予測されます。そこをサポートして下さるのが、保健師さん、看護師さんといった地域の専門家です。しかし、院内同様、地域でも良好な言葉のコミュニケーションは、大きな問題です。

そこで、私は、まず、小野市の健康増進課の保健師さん達と繋がりました。北播磨総合医療センターで、取り組んできた事の紹介や「やさしい日本語」の活用の提案などをいたしました。現在では、やさしい日本語で「母子手帳交付」「小野市への転入時の手続き」を作成することが出来ました。また、小野市国際交流会とも連携することが出来、健診時や訪問時の連携がとりやすくなってきました。

三木市での取組み

三木市では、消防署長さん、三木市役所(多文化共生担

九州地区豪雨支援のお願い

チャリティー演奏

AIC-Japan のホームページより
ご視聴いただけます。

<https://www.aic-japan.org/> →



被災地はまだまだ復興に向けての日々が続いています。ぜひ皆様のご協力をお願いいたします。いただいた支援金は、熊本豪雨ポジティブネット YMCA 基金、神戸国際支援機構を通じて寄付させていただきます。

三井住友銀行

明石支店
普通 6738439

みなと銀行

舞子支店
普通 4042732

ゆうちょ銀行

四三八支店
普通 0199849

郵便振込

郵便振替口座 00950-4-158176

領収書をご入用の方は aicjapanstvincent@yahoo.co.jp までお申し付けください。

当)さん、三木市国際交流協会の方々と繋がりを持ちました。(写真↓) 今後も少しずつ広げてまいります。



神戸市西区や三木市には、シリアからの方達が居られます。言葉はアラビア語、宗教はイスラム教です。私は言葉や生活の支援を必要に応じて行なっていただきたいと願い、草の根的に動いています。今年12月は西日本の医療通訳団体からのご依頼で講演会をさせていただくことになりました。来年はさらに、加東市役所、加西市役所の方と繋がり、そして、縦だけで無く、横向きのネットワークを作っていくように・・・と思っております。

多くの方々のサポートをいただき、ここまで、進んできたことができました。ありがとうございます。心より感謝申し上げます。

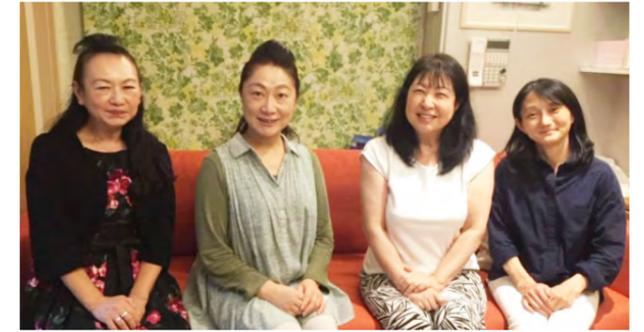
「小さいのちのドア」を訪 問させていただいて

小川香織

神戸市北区にある「小さいのちのドア」は行き場のない女性と小さいのちを全力で守るための相談窓口です。私達、AIC-Japan 神戸は「小さいのちのドア」を応援しています。今回はメンバー3人で訪問させていただき、とても暖かく穏やかな永原郁子先生からお話をうかがうことができました。

現在、国内で24時間の電話対応の施設は、九州にある「慈恵病院」と「小さいのちのドア」の2カ所だけ。そして、すぐに来所できるのは、ここ「小さいのちのドア」だけとのことでした。現在、行き場のない妊婦さんやお母さんが一時的に安心して生活できるマタニティハウスを建築されています。

お話の中で「生活ボランティア」と「セミナーボランティア」の2種類のお手伝いがあることを教えていただきました。「生活ボランティア」は、食事を作って一緒に食べたり、お掃除をしたりと、文字通り生活のお手伝い。「セミナーボランティア」は、お菓子づくりや音楽を通じて感性を磨



永原先生(右から二人目)と一緒に

いたり、パソコンやインターネットなどの資格習得、また、聖書や聖歌にふれることなど、生きていく上で、得てもらいたいことへのお手伝いです。

小さいのちのドアを訪れる方々の未来を応援できるよう、小さなお手伝いを重ねていきたいと思っています。



小さいのちのドア
<https://door.or.jp/>

思いがけない妊娠やもう育てられないと追い詰められた女性と、小さいのちのための24時間開いている相談窓口です



一粒の可能性

新海真由美

東広島から神戸へ移り住んで AIC に入会し3年目を迎えました。高知で生まれ育ち上京して20年、主人の転勤で東広島へ移り住むまではボランティアとは無縁の生活でした。東広島で「夢拾い」というボランティア団体との出会いがあり、毎週土曜朝5時から7時まで気のいい仲間たちと街の清掃活動を楽しみました。

神戸でも「夢拾い」を続けていましたが、一人は何とも寂しく、何かグループ活動ができないものかと考えていました。そのような折、夢拾いのメンバーから AIC 会員の京極さんをご紹介いただき活動を知りました。興味をもった私は翌月の例会に参加し、今に至ります。

私は農的暮らしをしながら、自分が大切だと思う活動や仕事をするをライフスタイルにしています。東京でも野菜作りに励んでいましたが、自給ができるようになったのは東広島で2反(2千坪)の農地を借りてからです。神戸は都会のイメージがあり、野菜作りはできないと諦めての転居でしたが、実際は農業も盛んで、自宅から車で10分ほどの所に貸農園があることを知り、すぐに入会しました。

畑を借りた翌年の春、風で飛んできた一粒のコスモスが芽を出しました。その翌年にはこぼれ種が咲き、3年目の今年は「コスモスマつり」ができるほど咲き誇り、畑を彩りました。しかも1・2年目は濃いピンク1色でしたが、今年は淡いピンクや白等が加わり、さらに花びらの形も多様で、



種のもつ潜在的能力が開花したかのようでした。この可愛いコスモスたちを一人でも多くの方に愛でてほしいと、ご近所や職場、AIC メンバー等へお届けしました。たくさんの笑顔をいただき、一粒のコスモスは私に多くの幸せと喜びを与えてくれました。

AIC の良いところは自身がやりたいことをメンバーで応援するところです。個性溢れるメンバーはそれぞれの得意分野で活動を続けています。私もコスモスの種のように神戸に飛んできて、この地に根付きつつあります。1粒の種が多くの可能性を秘めているように、自分自身を信じ、笑顔の花咲く活動を続けてゆこうと思います。



2019年度 支援のご報告

水と食べもの ラオス支援

栄養改善の支援をいたしました。地下深層部の水を汲み上げるための掘削工事は継続中です。

支援先	支援月	支援内容	金額
ラオス	8月	子どもと若者の栄養改善	107,000円

教育里親 アジアの子どもたちへ

昨年度は以下のとおり、教育資金を援助いたしました。

支援先	支援月	子どもの人数	主な支援内容	金額
フィリピン	5月	41人	制服、学用品、通学費用他	530,000円
インド	5月	46人	教科書、制服、学用品、通学費用他	350,000円
ラオス	9月	50人	学用品 50人分	67,000円

その他 国内への支援

復興支援・社会的弱者への支援

支援先	主な支援内容	金額
NPO「子どもの里」	子ども達の食事のお手伝い	17,000円
小さないのちのドア	寄付	59,000円
講演会独自開催	「未来は言葉で作られる ～子どもの可能性を広げよう～」	50,000円

2019年度 NPO法人 AIC-Japan 神戸 会計報告

2019年2月1日～2020年1月31日 (単位:円)

収入			支出		
項目	金額	備考	項目	金額	備考
前年度繰越	1,342,928		支援金	995,000	フィリピン・インド・ラオス
水と食べもの会費	224,000	30名	国内	50,819	子どもの里・小さないのちのドア
フィリピン里親会費	593,000	41名	印刷製本費	77,270	ニュースレター・チラシ
インド里親会費	353,760	33名	通信運搬費	31,924	切手・宅配料など
寄付金	648,744		消耗品費	3,508	コピー用紙・糸糸など
その他会費	299,966		会議費	7,982	コンサート打ち合わせ
正会員費	156,000		諸謝金	30,000	講演会
受取利息	7		保険料	7,000	ボランティア保険
			広告宣伝費	12,340	コンサート・チラシ
			支払手数料	16,324	口座徴収手数料・海外送金料
			旅費交通費	108,320	AICアジア会議参加(フィリピン)
			通信運搬費	19,995	電話代
			消耗品費	3,000	AICスカーフ
			会議費	33,450	AICアジア会議参加(フィリピン)
			接待交通費	6,360	パヨカミーティング・アジア会議土産
			諸会費	43,506	本部・国際会議
			支払手数料	13,250	海外送金
			次年度繰越	2,158,357	
合計	3,618,405		合計	3,618,405	

昨年度の支援内容のご報告です。皆さまからいただいた支援金は、上記の通り使わせていただきました。本当にありがとうございます！

会員のみなさま 順不同・敬称略

AIC-Japan は多くの会員の皆様のご支援によって成り立っています。暖かいご協力に心より感謝申し上げます。

水と食べものの基金

伊藤稔子 石龍二
近藤栄子 白水明代
佐野容子 富田恭子
寺田美世子 徳永愛子
永井曜子 古里たかこ
福江由佳里 小宮導子
柳田和子 西島昌代
吉谷順子 岩本和彦
最上愛子 衣笠さや子
小川哲史・香織 兵庫いのちを大切に
亀井史郎・早智子 にする会
播本弘志・幸子 小川倫欣
藤田光弘・かなえ 水川美江子
京極千穂 桃井いづみ
松本幸夫 中本容子
齋藤礼子 川北かおり
坂井洋子 岩本和彦
佐藤富美子 須田仁美
白根八重子 須田瑞季
中井悦子 匿名
藤原淑子
前川巖
松本正子
三木洋子
目黒俊三
森田聡子

教育基金・フィリピン里親

荒木隆司 新海真由美
飯島修 奥村美由紀
石龍二 吉原聖母幼稚園 聖モニカ
大池久栄 吉原聖母幼稚園 聖ヨゼフ
大場雅子 吉原聖母幼稚園 聖クララ
尾島純子 吉原聖母幼稚園 聖テレジア
勝又正幸 吉原聖母幼稚園 聖ペトロ
神澤正三 吉原聖母幼稚園 聖ミカエル
小森敬子 坂井洋子
坂井洋子 佐久間初江
佐藤寿子 松野下修子
高月朱美 木村なおみ
長尾史子 吉井清淑
中挟直明 和田 真
西村房代
長谷川禎子
花岡順子
濱田和子
菱田教子
福本暁美
富士宮聖母幼稚園
町野孝子
八城田鶴子
八城正知
和田昌子

教育基金・インド里親

石龍二
今内智恵子
牛田笙子
奥沢絢子
北島由理
坂井洋子
菅原景子
聖家族の家
ストップス静江
津下新子
中井悦子
播本弘志
福三枝子
溝淵京子
森のベンチ
山村フランシスカ
定本ゆきこ
小倉真智子
長谷川禎子
奥村美由紀
倉田昌子
高橋瑞枝
須田仁美
須田瑞季
堂瀬さゆり
匿名

ご寄付・ご援助いただいた方

カトリック北須磨教会
カトリック明石教会
カトリック垂水教会
カトリック今市教会
カトリック尼崎教会
カトリック芦屋教会
カトリック玉造教会
愛徳姉妹会ヨゼフハウス
母の家ベテル(神戸御影)
今内智恵子
上田秀子
加瀬谷洋子
武本暁子
森のベンチ
桃山台ふれあい
まちづくり協議会
聖マリアの園幼稚園
福岡カトリック学生会
浅見友岐子
井上文子
入倉君子
酒井慶子
東中八千代
中井マリア
古里たかこ
マナ助産院
小宮導子
出口様
渡辺様
榎田様
山路様
上田様

國米八重子
藤岡純子
平田ちづる
中本容子
平田さちえ
入江沢香
藤田ひろえ
安田舟太
安田美菜子
小川哲史
小川倫欣
カレージュ
AYUMUNYA
よじま
アント・ワークヘアコレクション
森山和泉
池田光恵
認定NPO法人
Present Garden to
小野 勝
竹下英樹
小川真依
井上文子
藤田いくえ
藤田ななえ
藤田琉輝
西尾育子
永原郁子
森山和泉
須田仁美
品田大介・智恵美

特別会員

(株)日能研 関西

TOPICS

日本の難民理解のための「小さな勉強会」

2020年11月5日、難民事業部関西支部 中尾秀一さん、ポートピアブルでベトナムから6歳の時に日本に来られた水原勇希さんから話をうかがいました。機会を作ってください皆さまに心より感謝いたします。



中尾秀一氏

水原勇希氏

シナピス工房さまより



●花の絵カード 1枚 100円

お見舞い、メッセージカードなどに。ご希望の、み言葉、祈りなども印刷できます。

カード作りは小さな手作業ですが難民の方に毎日の生活、食べ物など・支援になります。

癒れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう。

(マタイ 11・28)

Come to me, all you who are weary and burdened, and I will give you rest. Matthew Gospel 11:28

作成 = 難民の方と支援スタッフ / シナピス手づくり工房

<問い合わせご注文> カードへ印刷したいご希望のメッセージや英文についてなど

携帯・ショートメール 080-6178-2512
メール sacre.coeur.maria@gmail.com

品田 智恵美まで / 質問など折り返しのお電話できます。

ご支援のお願い

会員の方にはNPO法人AIC-Japanのニュースレター（年1回発行）をお届けいたします。

会員となつてご支援していただくことで、安定した支援活動を計画することができます。活動継続のためには、皆さまのご協力が必要です。ご支援いただける方は、下記の口座いずれかにご入金をお願いいたします。

尚、銀行をご利用された方は事務局まで電話またはメールにてご連絡いただきますよう重ねてお願いいたします。

未来のためにあたたかいご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

会費の種類

【賛助会員：活動内容に賛同し、支援して下さる会員】

- ・個人会員 1口 6,000円/年 [月 500円]
- ・里親会員 1口 18,000円/年 [月 1,500円]
- ・特別会員 1口 60,000円/年 [月 5,000円]

【正会員：活動に参加することを目的とする会員】

- ・正会員 12,000円/年 [月 1,000円]

- ・三井住友銀行 明石支店 普通 6738439
- ・みなと銀行 舞子支店 普通 4042732
- ・ゆうちょ銀行 四三八支店 普通 0199849
または記号 14360-2-01998491

【郵便振込の場合】

- ・郵便振替口座 00950-4-158176

特定非営利活動法人 AIC-Japan まで

※正会員費は活動費として、賛助会員費の20%は支援準備金と支援に必要な経費（事務費・通信費など）に使わせていただきます。

※恐れ入りますが手数料はご負担願います。

● 毎月の引落しをご希望される場合

「自動送金サービス依頼書」に必要情報を記入し、お届け印を押してご提出下さい。ご希望の銀行窓口で簡単に手続きができます。

● 会員を希望されない場合

賛助会員をご希望されない場合は、「寄付」をお願いしております。お手数ですが事務局までご連絡ください。AIC-Japanはこれからも心を込めて活動してまいりますので、どうぞ暖かいご支援をよろしくお願いいたします。



©NPO AIC-Japan



©NPO AIC-Japan

特定非営利活動法人 AIC-Japan 事務局

[TEL] 080-6134-7684

[MAIL] aicjapanstvincent@yahoo.co.jp

[URL] <https://www.aic-japan.org/>

※初めてご支援いただく方は、お手数ですが事務局までご連絡ください。



国際愛徳協議会（International Association of Charities・<http://www.aic-international.org/>）は400年の歴史を持ち、世界で最も古い女性ボランティア団体です。本部はベルギーのブリュッセルで世界52カ国に支部があり、約20万人の会員がいます。

戦争や疫病に苦しんでいた17世紀のパリで若き司祭、ムッシュ・ヴァンサンとして親しまれていた聖ヴィンセンシオ・ア・パウロ（1581-1660）は愛徳姉妹会の創立者、聖ルイズ・ド・マリアク（1591-1660）の助けを受け、行き倒れの病人や孤児たちを救いました。聖ヴィンセンシオ・ア・パウロは政治には一切関与せず、名誉ある役職から遠ざかっていましたが、政財界の信頼と尊敬を一身に受けていました。そこで、裕福な貴婦人たちに食事を作らせ、貧しい病人のもとに持って行って食べさせたのがこの会の始まりです。日本は聖ヴィンセンシオの愛徳姉妹会のシスターが中心となり、1999年に神戸、翌年2000年に和歌山に誕生しました。

発行：AIC JAPAN 神戸 [特定非営利活動法人 AIC-Japan]

〒655-0046 神戸市垂水区舞子台8-20-1
聖ヴィンセンシオ・ア・パウロの愛徳姉妹会内

Tel. 080-6134-7684

E-mail aicjapanstvincent@yahoo.co.jp

<http://aic-japan.org>

AIC JAPAN 和歌山へのお問い合わせは下記まで

〒641-0044 和歌山市今福3-5-21
Tel. 073-451-6460